

○第一期環境整備

- ⇒旅客ターミナル整備による、待合スペースの確保
- ⇒市営駐車場立体化整備による、駐車場不足の解消
- ⇒アクセス道路整備による、路面電車踏切解消
- ⇒第一期環境整備に合わせた、公共下水道整備（雨水・汚水）

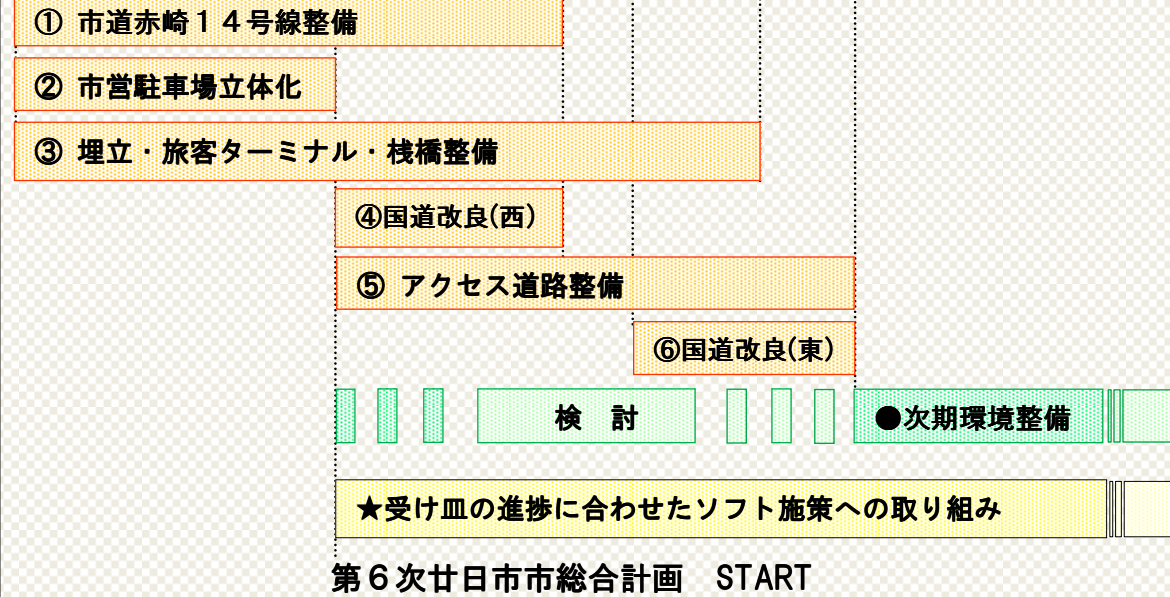
●次期環境整備（検討）

- （厳島公園線の歩行者優先化とJR北側駐車場の有効利用）
- ⇒陸橋整備による、JR北側地区への車両アクセスを改善
- ⇒JR北側地区立体駐車場検討による、厳島公園線の歩行者優先化
- ⇒自由通路整備（JR橋上駅化促進）による、JR北側地区から棧橋への良好な歩行者誘導
- ⇒海辺の回廊整備による、ウォーターフロントの連続性確保

★受け皿の進捗に合わせたソフト施策への取り組み（検討）

- ⇒第一期環境整備による、旅客ターミナル周辺の賑わい
- ⇒次期環境整備による、厳島公園線歩行者優先化など地区全体の賑わいや回遊性の創出

H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33



■厳島港（宮島口地区）港湾整備について

- 進捗状況
 - ・現在、広島県において公有水面埋立免許出願準備中。
 - ・免許取得後は、速やかに県事業として工事着手する予定。
- 埋立工事の内容
 - ・埋立面積・・・約1.01ha
 - ・用途・・・旅客埠頭用地（0.68ha）
緑地等（0.33ha）
 - ・工事期間・・・約6年間

■宮島口地区環境整備について

- 段階整備の検討

ハード整備（受け皿整備）は、時間とコストを要するため、整備実現時期を『第一期』と『次期』に分け、将来計画を見据えた段階整備を検討する。

また、賑わい・回遊性創出などのソフト施策については、駐車場など受け皿整備の進捗に応じて導入時期を検討する。
- 整備予定
 - ・第一期環境整備（オレンジ色）
H25年～H33年
 - ・次期環境整備（緑色）
H33年～
 - ・景観や賑わいなどソフト施策（黄色）
H28年～

